

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.6</b>	
<b>Q1 室内環境</b>					0.40	-	-	<b>3.2</b>	
<b>1 音環境</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50		
1.2 遮音				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50		
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能				-	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20		
1.3 吸音				-	-	-	-		
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.6</b>	0.35	<b>2.7</b>	1.00	<b>2.6</b>	
2.1 室温制御				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.3</b>	0.50		
1 室温		日本住宅性能表示「断熱等性能等級4」相当		3.0	0.63	3.0	0.63		
2 外皮性能				3.0	0.38	4.0	0.38		
3 ソーン別制御性				-	-	-	-		
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20		
2.3 空調方式				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30		
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.3</b>	0.25	<b>3.1</b>	1.00	<b>3.2</b>	
3.1 昼光利用				<b>4.2</b>	0.30	<b>2.4</b>	0.30		
1 昼光率		共用部分の昼光率2.5%以上。光庭・テラス等による採光を計画。		5.0	0.60	3.0	0.50		
2 方位別開口				-	-	1.0	0.30		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策				<b>3.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30		
1 昼光制御		宿泊室には、ブラインド及びバルコニー壁、又は庇を計画。		3.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15		
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25		
<b>4 空気質環境</b>				<b>4.4</b>	0.25	<b>4.1</b>	1.00	<b>4.2</b>	
4.1 発生源対策				<b>5.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.63		
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用。VOCに配慮。		5.0	1.00	5.0	1.00		
4.2 換気				<b>3.5</b>	0.40	<b>2.6</b>	0.38		
1 換気量		30CMH/人を確保する換気量にて設計。		4.0	0.50	4.0	0.33		
2 自然換気性能				-	-	1.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理				-	-	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視				-	-	-	-		
2 喫煙の制御				-	-	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-	<b>3.3</b>	
<b>1 機能性</b>				<b>3.9</b>	0.40	<b>3.4</b>	1.00	<b>3.6</b>	
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60		
1 広さ・収納性				-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応				-	-	3.0	1.00		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				<b>5.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.40		
1 広さ感・景観				3.0	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-		
3 内装計画		交流を促す共用部と居住空間。パースによる検証。		5.0	1.00	5.0	0.50		
1.3 維持管理				<b>4.0</b>	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		共用WC床・壁面はタイル。水切設置。外壁の撥水塗装。		5.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>	
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.3</b>	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:ビニル床シート、壁:ビニルクロス貼り、天井:ビニルクロス貼り、ボード		4.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の、2種類以上にC以上を使用。		4.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				<b>3.0</b>	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-		

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.6</b>	1.00	<b>3.3</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>					<b>4.2</b>	0.50	
1	階高のゆとり	階高3.4m以上。		-	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ			-	3.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>					<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	1.00		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	<b>4.4</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			既存樹木の保存。外構緑化率94%。自生種、維持管理に配慮。		<b>4.0</b>	0.30	<b>4.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			隣接する既存キャンパスと調和する形態・配置・外装材。		<b>5.0</b>	0.40	<b>5.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>					<b>4.0</b>	0.30	<b>4.0</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			中央広場、緑道。ラーニング commons。光庭。バルコニー前の植栽や壁。風を導く建物配置。中高木、緑地の確保。		<b>4.0</b>	0.50	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>					<b>4.0</b>	0.50	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							<b>3.4</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>3.5</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			日本住宅性能表示「断熱等性能等級4」相当		<b>4.0</b>	0.20	<b>4.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>					<b>2.0</b>	0.10	<b>2.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>			建築物全体BEI=0.93。		<b>3.7</b>	0.50	<b>3.7</b>
<b>4 効率的運用</b>					<b>3.5</b>	0.20	<b>3.5</b>
集合住宅以外の評価							
4.1	モニタリング			-		-	
4.2	運用管理体制		<b>3.0</b>	-		-	
集合住宅の評価					<b>3.5</b>	1.00	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制	レベル3に加え、一般的な省エネパンフレットの配布も行う予定。	4.0	0.50		-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>3.5</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>1.1 節水</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.7</b>	0.60	-	-	<b>3.7</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			2.0	0.10	-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.20	-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>			3.0	0.20	-	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>			ビニルシートA・B:共用廊下、倉庫等、打込断熱材:外壁・柱型		5.0	0.20	-
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			3.0	0.10	-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>			躯体+軽鉄+仕上げ材。OAフロア。		5.0	0.20	-
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.7</b>	0.20	-	-	<b>3.7</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>4.0</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWP=1の吹付断熱材を使用。	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			ライフサイクルCO2排出率97%		<b>3.1</b>	0.33	<b>3.1</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	レベル3を満たし、かつ透水性舗装を採用。	4.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.33	-	-	<b>3.1</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		<b>1.0</b>	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>3.7</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」の一部を満足、屋外広告物照明を行わない。	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	